

院長	副院長	副院長	副院長	事務部長	看護部長	主査

## 第72回 地域協議会（地域医療支援委員会）概要

【日時】令和7年10月23日（木）19:00開始

【場所】人吉医療センター3階講堂、オンライン

【出席者】友永 和宏 （人吉市医師会会長）  
 山村 礼二 （人吉球磨歯科医師会）  
 河内 謙介 （西諸医師会理事）  
 寺田 歩 （伊佐市医師会理事）  
 村田 圭介 （人吉球磨薬剤師会会長）  
 木村 聡子 （熊本県人吉保健所）  
 池下 哲也 （人吉市健康福祉部長）  
 井手平 慎一 （えびの市健康保険課課長）  
 瀧田 尚史 （人吉市教育委員会）  
 尾崎 宜 （人吉下球磨消防組合警防課長）  
 椎葉 一浩 （上球磨消防組合警防課長）  
 田上 博 （西諸広域行政事務組合警防指令課長）  
 薬師寺 俊剛 （人吉医療センター院長）  
 牟田 大助 （人吉医療センター副院長）  
 石神 哲郎 （人吉医療センター歯科口腔外科センター長）  
 告吉 ゆかり （人吉医療センター看護部部長）  
 山脇 淳 （人吉医療センター事務部長）  
 花田 浩二 （人吉医療センター総務企画課）  
 山田 一裕 （人吉医療センター医療福祉連携室）  
 田頭 隼人 （人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】高森 啓史 （公的病院企業長）  
 近藤 浩之 （球磨郡医師会理事）  
 寺岡 公美 （伊佐市保健課長）  
 沖田 博文 （伊佐湧水消防組合警防課長）  
 久保田 智子 （人吉医療センター診療情報管理室）

（敬称略 計25名）

## 【資料概要】

一、開会

二、議長挨拶

三、議題

①登録医承認

### 【新規登録】

人吉市	中原歯科医院	中原 弘樹 先生
球磨郡	はやしクリニック	林 哲也 先生
		合計 2 名

### 【登録削除】

球磨郡	田中医院	田中 敏洋 先生
	横山医院	横山 武春 先生
伊佐市	寺田病院	大園 史郎 先生
		合計 3 名

【登録医総数】 232 名 (R7 年 10 月 23 日現在)

②球磨医療圏の現状 — 第 8 次熊本県保健医療計画より —

人吉医療センター 診療情報管理士 久保田 智子  
別紙参照

質疑応答

「オープンデータとは具体的にどのようなものか？どう活用しているのか？」

- ・厚労省や公開データ (DPC 等) を活用
- ・ Excel 等で分析可能
- ・ 病院ごとの機能・役割が可視化できる
- ・ 経営や役割分担の判断材料になる

「資料に拠点病院の記載がないのはなぜか？」

- ・ データが令和 5 年時点のため反映されていない
- ・ 今後見直しの可能性あり

救急搬送状況について

「救急件数増加の中で、軽症患者の扱いはどうなっているか？」

→消防組合

- ・ 出動件数は増加（約 4,300 件）
- ・ 高齢者搬送が増加
- ・ 軽症も一定数含まれる

→医療機関

- ・ 軽症は他医療機関へ分散
- ・ 重症は中核病院で対応
- ・ 役割分担が進行

搬送先判断について

「救急時の搬送先はどのように決定しているか？」

→消防組合

- ・ 患者の状態（重症度）を最優先
- ・ 状況により最寄り病院へ搬送
- ・ 今回のケースでは重症のため近隣病院へ搬送

#### 四、意見交換

①人吉球磨圏域災害時フォーミュラリー進捗報告

村田議員より発表 別紙参照

- ・ 医薬品不足が深刻
- ・ 災害時の供給混乱
- ・ 地域フォーミュラリー導入を提案

質疑応答

「災害時だけ使うのか？」

→日常からの運用が必要、災害時のみでは機能しない。

「導入すると何が変わるのか？」

- ・ 使用薬剤の標準化
- ・ 在庫確保が容易
- ・ 災害時の混乱軽減
- ・ 医薬品供給の安定化

「なぜここまで医薬品が不足しているのか？」

→ ・多品種少量生産が原因

- ・製造効率が悪い
- ・今後も長期的な課題

今後の方針

- ・人吉での導入を目指す
- ・年度内に体制構築計画
- ・将来的に診療報酬の可能性あり

その他意見

- ・医療人材の地域偏在
- ・薬剤師の都市部流出
- ・医療機関の役割分担の必要性
- ・災害対策の強化

五、その他

事務局より次回は、12月開催予定

オンラインにて地域医療構想に関する講演予定

六、閉会